

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月17日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

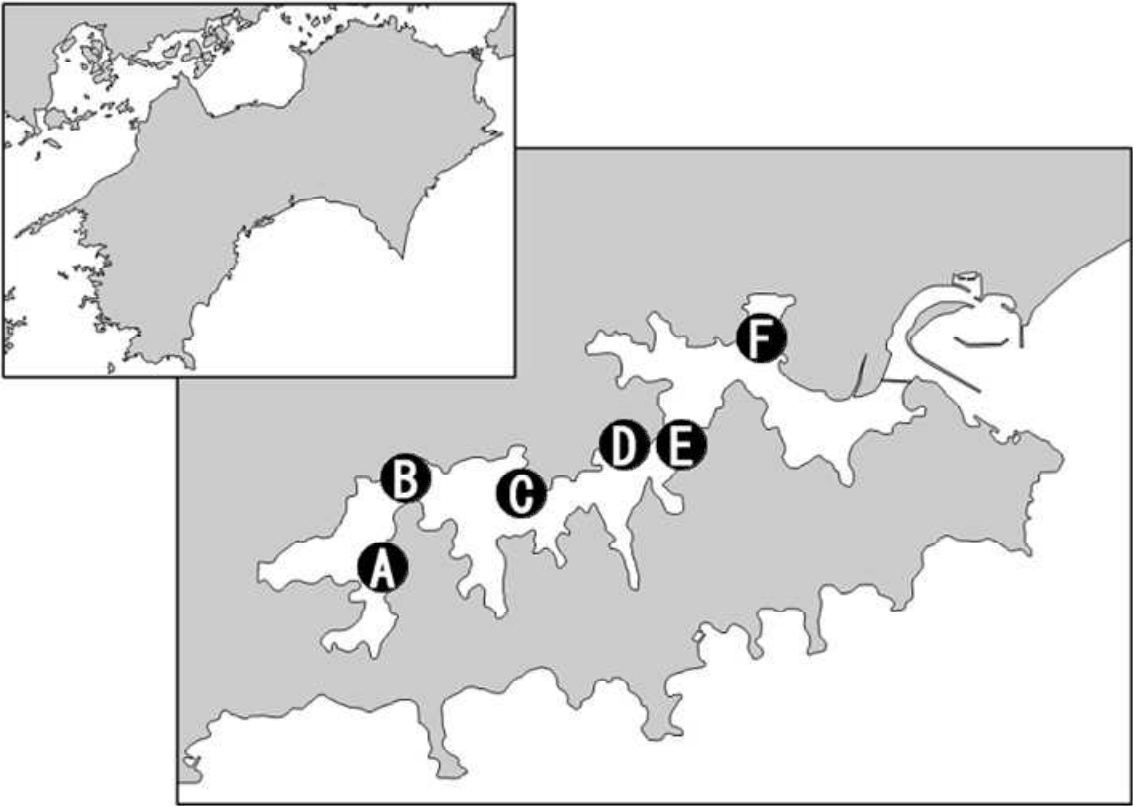
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なディクチオカ属が最高で420 cells/mL、ケラチウム属が最高で60 cells/mL確認されました。ディクチオカ属は5,000 cells/mL以上で養殖魚へい死のおそれがあり、ケラチウム属は100 cells/mL以上で、養殖魚の餌食い悪化が懸念されます。

また、水試験小割前を除くすべての調査点において底層が、中学校前では底層に加えて10 m層が貧酸素状態になっていますので注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ディクチオカ 属	ケラチウム 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)			
A 鳴無 (2.6m) 【09:45】	0	29.4	12.9	10.0	0	0	-
	2	25.8	28.6	13.0	340	21	-
	5	24.2	30.0	8.7	260	11	-
	底層	9	23.6	31.0	44	47	-
B 中学校前 (2.1m) 【09:51】	0	29.5	12.7	9.7	0	1	12,800
	2	25.0	27.7	12.4	8	2	21,000
	5	23.2	29.7	10.2	150	38	13,600
	10	23.2	31.1	2.2	420	25	460
	底層	12	22.4	31.4	51	7	450
C 目ノクソ (2.6m) 【09:59】	0	29.2	17.2	9.3	0	0	3,100
	2	24.7	28.1	11.5	2	0	22,900
	5	23.2	29.7	9.2	94	60	19,100
	10	22.9	31.0	4.2	15	15	2,300
	底層	15	22.1	31.7	0	0	600
D 光松 (2m) 【10:19】	0	27.5	11.7	9.6	0	0	11,600
	2	24.6	27.5	10.9	0	2	22,100
	5	23.2	29.5	8.3	0	49	14,000
	10	22.8	30.9	4.5	3	0	4,300
	底層	17	22.1	31.7	0	0	200
E 大鹿 (2.2m) 【10:27】	0	27.6	18.4	9.9	0	0	10,300
	2	24.4	28.1	10.3	0	0	28,100
	5	23.2	29.4	8.6	0	37	14,800
	10	22.7	30.8	4.6	2	0	5,400
	底層	16.5	22.1	31.7	0	0	1,400
F 水試小割前 (2.5m) 【10:37】	0	26.4	25.8	9.3	0	0	15,500
	2	24.0	28.4	9.5	0	0	14,500
	5	23.3	29.6	7.8	0	6	9,400
	底層	9	22.6	30.9	0	0	4,000



- A: 鳴無
B: 中学校前
C: 目ノクソ
D: 光松
E: 大鹿
F: 水試小割前

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※ 3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。